

今、見直す。

「歯科衛生士の

仕事とは」

むし歯と歯周病を予防することができれば、
自分の歯を一生保つことができます。
そのため、正しい生活習慣やセルフケアを
実行するための専門的な支援（指導）が不可欠です。
その中で、歯磨きを中心とした歯垢清掃法の指導は、
セルフケアのスキルアップを専門的に支援する大切な仕事です。

上記の文章は、日本歯科衛生士会のホームページに書かれた
「歯科衛生士の仕事とは」の一部。歯科衛生士のことは
“歯科予防処置の専門家”と表現されています。

では、今の日本で行なわれているメンテナンスは
この言葉通りの成果を出せているのでしょうか……？

そこに疑問を持ち、確実に実現するために生み出されたのが、
一般社団法人パームリー協会の提唱する『プラークフリーテクニク』です。
実際に学び始めている歯科衛生士のKさんは、
今まで自分が行なってきたこととの違いを明確に実感しています。

Y.K.さん / 臨床歴18年

「お願いね」は
本当の予防に
つながらない！

“口の中の満足”
ではなく、
“気持ちの満足”を
提供する

今メンテナンスにいらしている患者さんは、うれしいことに
“すく頼りにしてください”と思えます。「いつか通えな
くなったら自宅にクリーニングに来てね」とか「辞めないで
ね」とか。だけど、本当にそれでいいのかわからないのは正直疑問
です。もしその方が遠くの病院で入院することになって
しまったら？ 私引越すことになったら……？ 何か
の理由で私が携わることができなくなると、その方の口腔
内はセルフケアで維持できますかと聞かれたら、今の自分の
指導では「大丈夫」とはとても言えない。「プラークフリーテク
ニク」のことを知って、学んでみたいと思ったのは、それが
きっかけだったんです。

まずは私自身がレッスンを受けさせてもらいました。最初は
「自分がやってきたことと何が違うの？」って感じでしたけど、
衛生士の扱いは脱いで、できるだけまっさらな気持ちで挑んでみ
たら驚くことが多々ある！ 一番の衝撃だったのは、トレー
ナーの歯科衛生士さんが私の口の中を触らないんです。触ら
ないのに、レッスンを受けるたびに口腔内がキレイになっていく
んですよ。

その分対話する時間が多くて、いろいろな質問されながら、
“どこが磨けていないのか”“アップダウンのある生活の中で
365日のケアをどう続けているか”というのを自然と考える
ようになります。自分の健康を自分で守る意識ってこういう
ふうに見えるんだと、腑に落ちた初めての体験です。

改めて患者さんの立場に立つてみると、今まで私が提供して
きたのは、口の中の満足。だったのだと実感します。一方的に伝
えることが多かったので、「キレイにしてください」というのが
終わってしまうというか。患者さんが思考する時間というの
がほほないので、「結局クリーニングしてもらえば大丈夫で
しょ？」になってしまふんですね。だから「ずっとお願ひ」とい
う言葉につながっていたのだと、身を持って感じました。

それが「プラークフリーテクニク」だと、とにかく患者さん
が主導権を握れるようなコミュニケーションがされていきます。
「どこが磨けてないんだな」「この歯にはフロスをこう当てると
確実に落ちるんだな」って、自ら考えて自立する瞬間まできち
んと見守ってくれる。自分でキレイにできるのも楽しいしうれ
しいし、自信がつくから笑顔にも磨きがかかります（笑）。気
持ちの満足が、大きくて、毎回ハートのスタンプカードが満タ
ンになっていく感じがしましたね。

こうして自分が100%患者さんの立場になるって、今までな
かったです。歯科衛生士はサポート役だとは前から思ってい
ましたが、「サポート」ってあげる「だけ」ではいけないんだな
というの新しい発見。一生健康でしっかり噛めるという目標
を目指すうえで、本当に必要なことを得られた気がします。

『プラークフリーテクニク※』とは？

365日細菌と戦う力を習得するための、5日間プログラム。

“教える”ではなく“顧客自身が身につける”という観点から専属トレーナーが働きかけ、
「自分で考える」「自分で実践する」「自分で違いを感じる」ができるように導いていきます。
顧客へ提供するためには、一般社団法人パームリー協会の認定が必要です。

※商標登録出願中

詳しく知りたい方は……



info@parmly.jp